

足立卷一
え・津高和一

ぼくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかつた。

非悪心童物語

秘 9

著



前序まで

父は二六新報という新聞の同人であったが、ぼくの生後四ヶ月で急死し、母は実家に帰り、ぼくは東京でじいさん、ばあさんにお育てられた。そのじいさんは漢学者で数人の門人に漢詩文を教えてはそばそと暮らしかけていたのだが、ひどいドモリの変人で、ひとりで電車にも乗れない生活無能力だった。小学校一年のときにはあさんが死ぬと、ぼくとじいさんは東京を放浪し、香奐を旅費に変えて出身地の長崎に帰ったが、親戚は受け入れてくれず、やはり木賃宿暮らしをつづけているうちに富商の妾宅に世話をになつてやつと落ちついた。と思うと、じいさんは銭湯で頓死してしまい、ぼくは孤児となつた。大正

十年六月のことだ。そののちぼくが成人して最初の著書を出版

すると、その新聞広告によつてじいさんの門人尾崎楓鑑という人が二十五年ぶりに神戸にあらわれる。尾崎さんはじいさんの詩文集を出版しようとして成らなかつたことなどを語る。昭和十八年晚夏のことだ、ぼくは灘区の岩屋に住み、結婚して長女が生まれたばかりで、第一神港商業の国漢教師をつとめていた。

尾崎さんは、しきりに目ばたきをした。

「わたしもかごろ目が弱くなりまして」

「そういえば、かすかに白濁がある。ソコヒのけがある

のかもしない。

「よくも成人なされ申した。敬亭先生も仙下で必ずやお
よろこびでござんしょう」

たしかに、じいさんはぼくが成人し、人なみに父とな
ったことをだれよりも喜んでいたろう。それは疑いよ
うもない。なぜなら、じいさんにとってぼくはこの世に
残されたたつひとりの肉身であり、そのときぼくはま
だひとりで生きる力を持たないあやうい幼年にすぎなか
つたから。

が、じいさんに突然フロ屋で死なれ、孤児となつた悲
しみはふしげに記憶にない。まだ八歳であつたからかも
しれないし、自失していたからかもわからない。

記憶に焼きついているのは、目のくらむような烈日の
野なかの道を火葬場へ歩いたことぐらいである。それに
付隨してしきりに棺桶がゆれたこと、ぼくたちをしめ出
した寺の住職がそのとき何かと指図し、こう暑いとホト
ケの腋水がもれるのではないかと同行の僧と話しあつて
いたことである。それを聞いて、ぼくは棺桶を見つめて
歩いたような気がする。そして、野の道にかすかな液体
が線を引いていたようにも思える。

つぎにおぼえているのは、埋葬のことである。墓は寺
と重縁の有力壇家であつたためか、本堂のすぐそばの石
をめぐらしたところにあり、イボタの木がはえていた。

そこに穴が掘られ、骨壺がすえられた。ぼくは突然、「さ
あ」といつて一握りの小石と土とを持たされ、そこに投げこむようないわれた。それがどんな音を立てたか
は、まったく記憶にはない。

とにかく、そうして祖父敬亭の一生は終わった。

ドモリで、変人で、生活能力はかいもく無く、漢詩文
ばかりにふけつて長崎有数の家産を使ははたし、息子を
帝大に進学させてやつと卒業、就職、結婚、孫の出生を
見たかと思うと急死され、つれそつたばあさんに死なれ
ると孫の手を引いて放浪し、郷里に帰つても親戚、縁者
にツマはじきされ、あげくは銭湯に沈んで死んだ。

最後に作ったと思われるじいさんの名刺が一枚残って
いるが、肩書きと雅号とばかりがいやに多い。

前代議士東京麹町区秋山家漢文講筵主任

現東京牛込雑誌大日本社客員

新曲（乃木桜千代の薰り）の著者

新長崎市特属優待長崎風土誌編輯員

商名士行之崎人（奇人）中村五洲家庭教師

それが肩書きで、小活字でびっしり刷りこんである。

「秋山家」というのは二六新報社主秋山定輔のことと
きおり漢詩を発表していたからだろう。「大日本」はそ
のころの国粹主義的な総合雑誌の一つであり、「長崎風
土誌」は「長崎市史」の前身でその古賀十二郎の序には
祖父の名があげられているが、ほとんど仕事は実つてい
ないらしい。中村五洲はぼくたちに一時の住まいを与えて
くれた質商である。

号には「雅号 敬亭」、「曲号 古情」とある。

なんとも恥ずかしくなるような名刺である。大正初年
の名刺としても、ずいぶん変わっている。生活能力がな
く、しかも世にみとめられなかつたので、こんな自己宣
伝になつたものだろうが、そういうじいさんの思いはそ
の一生にもあてはまることで、ぼくにはそれがわかり、
祖父をあわれに思う。それとともに、赤児のように無邪
気な人物であったろうとも考える。

尾崎さんが示したじいさんの著作年譜を見ているうち
に、ぼくにはさまざまの回想が静かに燃えた。

すると、尾崎さんは意外なことをいったのである。父
も祖父の薰陶を受けて漢詩文をよくしたけれど、その文
才詩才は祖父翁にはとうてい及ばないと述べ、「敬亭先生
の書かれたものでは、戯詩文が格別におもしろござんす
ね。あれだけのことがああ婉曲に、機微をつくして書け

るお方はほかにはござりますまい。おあずかり申しした外編をここに持参いたしました」

そういうて、数冊の和綴じの本を机に進めた。すべてきれいに製本してあるうえに、ハトロン紙でカバーがつけてある。「漢訳藐姑射秘言」「驅睡具」「双清情譜」「春夢痕」「院本戯訳成蹊集」「簷声日録」「斑爛舞衣」「玉鬘余情」「紫縁廿則」「東京写真鏡」などと、たいそうむずかしい題名が書かれているが、一見してそれらは春本とよばれるものを漢文で書いた男女の交情をつづった戯作とわかった。

それらの表紙には「秘著之部」と注記してある。

尾崎さんがさきに示した「足尾条約」に敬亭秘著「二十四冊、一函」の記載があり、著作年譜に朱筆で別記してあるのは、すべてこの種の戯詩文であることもはじめ

て知った。「敬亭文集編纂規定」にある洒落の著、外集にあたるものらしい。

尾崎さんはぼくたちが長崎に帰るときに、これらの秘著を全部あずかり、それを小川篤弼さんと全集に編むつもりでいたができなくなり、主要稿本を神戸の母の実家に送ったものということが便箋のノートでわかる。それが大正十年一月三十一日である。「同年二月十五日正午附ノ先生ヨリノ書類一式神戸ヲ経テ到達」とノートに出しているので、のちにぼくが長崎の寺から送られた父祖の稿本は祖父の死後寺に保存され、それが伝えられたのだ。ぼくはこの本の流転の伝承に歎嘆な気分になる。さらに、秘著まで尾崎さんによって保存せられ、それをいまぼくに返すというのである。

ぼくは秘著を押しいただくようにして頂戴した。



そのとき、尾崎さんは奇妙なことをいった。

「わたしが敬亭先生に教えられたものは、人には熱心が大切だということござんす」

そこまではよかつた。というより、あたりまえのことである。

「先生は自分が美人を得たのは熱心のたまものだとよく申されました。それが耳にこびりついておりまして、な」ぼくはクソまじめいっぽうの中学校教師であった。それには、美人と熱心との結びつきは意外千方百つた。

尾崎さんが語るところによると、じいさんは若く美しい義太夫語りの女に熱心し、かよいつめたあげく、ついにその心を得たのだ。そういえば、母がじいさんは娘義太夫にウツツを抜かしていたというようなことをもらしたことがあり、夜、ふと目ざめるとドモリのじいさんが首をふりたてて義太夫をうなつていた記憶もある。しかし、ぼくが知っているのは、黙りこくつてぼくの手を握って歩いていたじいさんだ。長崎に帰つて木賃宿を泊り歩いたころの日記が残っているが、そのころは碑文を直したり、借金をしたりしてやつと暮していたことが読める。その二月二十一日の条は「日曜、雪凜寒」とあり、「夕、西を問ひ、むしすし、玉子むしの食にあふ」とある。西とは知人で、そんなごちそうになつたものらしい。

その翌日には「三十二日、火、雪」とあり、つぎのよ

うな記事を残している。

「此愛を見よ（昨夕初て吾一人ニテ西氏のムシズシ、玉子ムシに餽う。因て此夕は特にスシをケンに与へ、吾は十五銭の青年のタメしを用ゆ）。五十銭、巻へむしすし」じいさんは西さん宅ではじめて自分ひとりムシズシと玉子ムシのごちそうになつたので、ケン、巻——ぼくをすし屋につれていき、五十銭で食わせ、自分ひとりは十五銭で若者が食べる普通の夕食をとつたというのだ。ぼくは全然記憶していない。それだけにかえつて、ぼくはこの日記を読んで、泣き出したいほどじいさんがあわれ

に、尊く思われたものだった。「此愛を見よ」というコトバはそのままぼくのはらわたにしみとおつた。

ところが、そのじいさんは尾崎さんは美人と熱心とをくりかえして語つたといふ。

信じられなかつたが、その秘著の『簫声日録』を何気なくひろげると、冒頭からえらいことが書いてある。

「古情人。一日臨鏡自寄曰。面長妙桑維翰。眼巨似張翼德。獅鼻而鷄口。涅艾為眉。種針為頬。何吾貌醜惡一至此也。夫醜惡至此。而彼妹未全睡棄者。何也。為有金与。有才与。抑為有至恋切情不可割者与。此三者。於予一無有矣。則何如彼。是唯因藏一茎巨蘋風味異常者耳……」

要するに、自分古情人は、顔は醜惡をきわめ、金も才も恋の切実さも持たないので、あの女が自分を棄てないのはなぜか？ 「一茎巨蘋」を持つからである……というのである。ちなみに、草とはキノコ。そして、その女を見そめてから、かようようになるまで事をこまかにしし、随所に思いをのべる漢詩をはじえているのだ。

ぼくは頭をたたきつけられたような気分になり、やがて、尾崎さんの妹さんがもう食事が不自由になつてたときにもかかわらず、クジラのフライを出してくださつたのを早々と頂戴すると、家へ急ぎ帰つた。そして、じいさんの秘書を読みふけつたのである。そこには、おそろしい情痴の世界が綿々と、しかも、たいへんこつけいにつづつてあつた。

△△△△△

現代の空間、68展★光と環境

とき★6月7～12日 そこう新館6階催物会場（無料）

■毎年現代美術が直面しているテーマにそつて作家を招待し、展示するしの。本年度は「光と環境」のテーマで従来キャンバスと絵具を素材にした絵画・彫刻の概念をやぶり、新しい要素として光と動きをとり入れようとする試みがこの一年にみられた。しかも壁面をはなれ、環境として見る人のなかに入りこみ、見る人の参加を要求している。このような傾向を一同に集めて展示するのはわが国初の試みと注目されている。出品作家は、山口勝弘、多田美波、シダミノル、向井修二、今井祝雄ら二七名。

なお毎年の作品のなかから三洋現代美術賞（五十万円）のグランプリが贈られる。

主催／神戸市・神戸新聞社

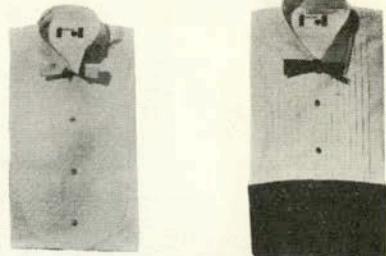


ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ④ 7290

KOBE SHIRT



よろずゆ
襯衣縫上處
神戸シャツ

神戸店 - 神戸大丸前 33-2168
東京店 - 東急日本橋店1階 211-0511 内線219
東急渋谷本店 6階 462-3433



世界の品々は
サノへでお選
びください。



元町2丁目
④4707~8



高級紳士服専門店

神戸テーラー

さんちかメンズタウン 田中区北長狭通2(阪急西口) TEL ④0388
TEL ④2817-3173



あらゆる体型に
フィットする
お詫えシャツ

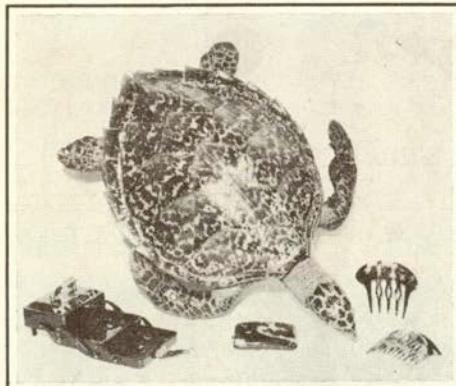


紳士洋品の店
千 祐 廾

元町4 TEL 34 6959

大上鞄店・いなみ

元町通1丁目 TEL 33・3962
さんちかメンズタウン TEL 39・4627



センスあふれる

べっ甲専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL 33 6195



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

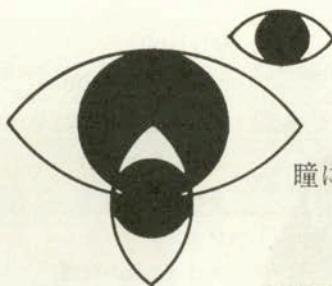


元町3 TEL <33> 3617



創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町
ACCESSORIES
イクシマヤ
TEL. (33) 2415・2416



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所

神戸市東灘区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

創業明治二十一年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街
TEL (39) 0256
確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店



羽アリを見たらその週辺に白アリの巣があります

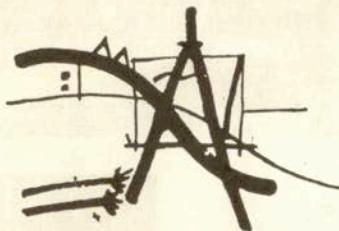
家の大敵！ **白アリ**

- 家の新築には予防が大切です
- ▶ 驅除予防専門施工
(調査無料10ヶ年保証)
- ▶ 兵庫県環境衛生事業協会理事
- ▶ 神戸商工会議所会員

アイワ消毒（株）

神戸市生田区中山手通3～52 トーアロード筋
TEL. (39) 8636・(33) 0854

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



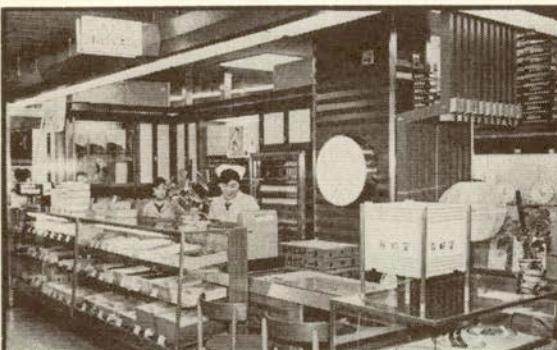
末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
④1309・6234



おもちゃの カ メ ヤ

三宮方面でのお買物は.....
さんちか店 ファミリー タウン 09 4045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 03 4969
元町方面でのお買物は.....
元町店 元町通 3丁目山側 03 0090
バンブウ店 元町通 1丁目不二家前 09 0768



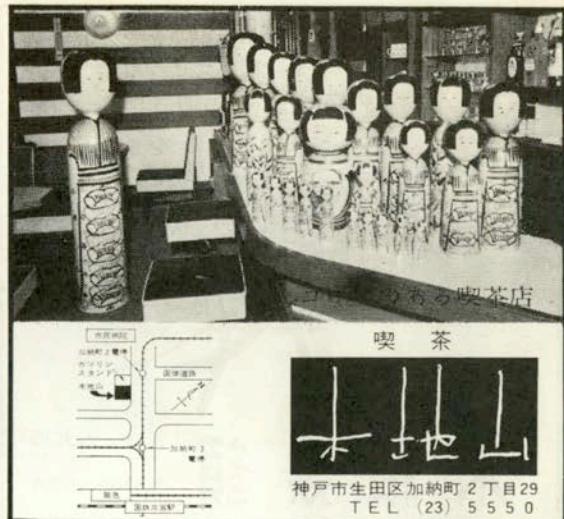
ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店=大橋町5 大五ビル (61) 0553-4
新開地店=松竹座前 (56) 2423
元町店=元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン (39) 3625

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンディー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304	
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217	
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話 231-6979	
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話 251-4182	
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話 571-2303	
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目 新宿ステーションビル地下2階	電話 352-2436	
		東京有楽ビル店 東京都中央区有楽町 有楽ビル	電話 213-2821
		東京国際ビル店 東京都丸ノ内 国際ビル	電話 212-3746





洋酒の店 キャンティ

Chianti*

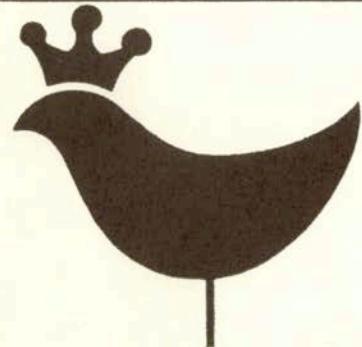
榎 晴夫 TEL(39) 3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

CLUB
Young Bell

松田 真理子

生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052



CLUB 小万

生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39—0638
39—4386



洋酒の店

OK

小川深雪
阪急西口下る京町筋
TEL <39> 1413

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一



まつをの長兄の藤井秀吉が、次弟の政市を連れて、広島からかけつけてきたのは、翌々日の朝であった。

以前にいちど秀吉と会ったことがあるという市橋が、二人の肉親を迎えた。

まつをにはすぐ下の弟にあたる政市は、広島市内の觀音町というところで、小間物の店をひらいているといふ。長兄の秀吉は、危篤の電報をうけとると、吉坂村からバスで五、六時間もかかる広島市にてて、この政市を誘ってきたのである。

秀吉は、日焼けした、しわの多い顔に不精ひげを生やし、いかにも百姓然とした五十男であったが、弟の政市は、商人らしい如才のない物腰に、どこか抜け目のなさそうな感じがあった。まつをは、二人のどちらにもあまり似ていよいよであった。

★あらすじ まつをは十五才で広島の生家を出て鐘紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。其稼ぎで苦労した末、呉服屋かたち屋を開いた。結婚後二十年やっと子宝恵まれたが、利市は「南栄商店連合会長」に選ばれたが、多忙な身は病を起し翌年三月に他界した。亡夫の一周年をすますと、まつをは大活躍をはじめると、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつをは高血圧で倒れた。番頭は呼吸器の権威天沼病院にまつをを運びこみ、昏睡状態がづく。実母の勢津が危篤電報で神戸へとんでくる。そして孫の良治のかわいさ一心から「もしやのことがあれば良治の身柄はひきとつて育てる」と胸中を語った。

「寝耳に水の電報で、驚かれましたやろ？遠いところを、ご苦労さんでした」

市橋が控えの部屋で二人に挨拶すると、

「どんなでしようか。病人の具合は？」

と、秀吉は、挨拶も抜きにして、いきなりたずねた。

まつをは、依然として昏睡状態をつづけていた。発病して三昼夜、その間いくどか、主治医が良治や勢津たちを患者の枕元に呼ぶ場面がくりかえされたが、それでも、まつをの生命の灯は、たえず明滅しながら、どうにか消えずに点っていた。

「まあ、病院でも、いまのところは、カンフルと食塩注射で持たせておるようですが、どうも、それ以上、手のほどこしよもないらしいですな」

市橋は暗い表情で語りながら、ふと、対いあつてている二人の肉親の態度に、なんとなく納得できぬものを感じとつた。

病人とは義理の仲の勢津でさえ、病室にはいるなり、「間にあいましたか。よかったです、よかったです」

と、病人の枕元に崩れるようにすわりこんでいた。それが、人間の自然な感情の流露というものではないか。

市橋は、まつをがこの兄弟たちとほとんど行き来していないなかつたことは知っていた。十五才で故郷を出奔したというまつをにとっては、故郷の生家にはあまり愛着も感じられなくなっていたのであるし、また、兄弟のほうでも、家を捨てた妹には、肉親らしい愛情がうすれていたのかも知れない。

それにしても、血をわけた妹が生死の境を浮沈しているのである。市橋の目には、二人の態度がひどく素っ気なさすぎるようになってしまった。二人とも、危篤の電報で、もう駄目だときめてかかり、ただまつをの死を確認しにや

ってきたのではないか。市橋は、そんなふうに勘ぐったくなつた。

秀吉たちは、勢津とは初対面であった。そのせいか、おなじ控えの部屋にいても、秀吉たちは勢津に言葉らしい言葉もかけなかつた。他人儀行といよりも、この妹婿の生母をなにかうさん臭い目でながめているようであつた。

勢津の娘の富子が、夫の水田と連れだつて、名古屋か

らやつてきたのは、その翌日の夜のことであつた。

勢津は、八鹿を発つとき、まつをの危篤のことはいちおう富子に知らせておいたといつた。だが、こうして夫婦そろつてやってくるとは思つていなかつたらしく、意外そうな面持ちで二人を迎えた。

「おまえら、もう用意してきんか？」

勢津は、水田のさげている大型のトランクに目をやりながら、小声でたしなめるようにいつた。トランクの中味は、夫婦の喪服にちがいなかつたが、そういえば、秀吉たちも、大きな唐草模様の風呂敷き包みを持ってきていた。喪服の準備をしてこなかつたのは、あわてて家をとびだした勢津だけであつた。

「さいしょの電報から、あとなんにもいってこんので、やきもきしてたわよ。もうころあいだらうと思って、きてみたんだけど、義姉さん、まだたつたのね」

まだたつたことが、不服でもあるかのように、富子は、控えの部屋にどさりとからだを投げだしてすわつた。

富子は三十なかばの年ゆきだったが、一見してカフエカバーあたりの水商売上りとわかる小ぶりな和服姿であった。夫の水田は、船員あがりということだったが、これも、大柄なからだを派手なダブルでつみ、ちょっとやくざっぽい感じの四十男である。

勢津が、娘夫婦を秀吉たちにひきあわせると、「やあ、はじめまして、水田です。名古屋の大須という盛り場で『カドマ』という酒場をやつります。以後ご



万一のときには、登校中でもすぐ病院に急行することにした。彼には三ヵ月後に中学の入試がひかえていた。しかし、まつをの病状は、もう時間の問題のように、だれにも思われていた。金の糸目をつけぬ治療で、ただ死期を一寸刻みにのばしているだけであった。

市橋たちは、病室の隣りの部屋を五人の親戚に使ってもらい、自分たちはもう一部屋の控えの間によりあっていたが、親戚の部屋では、終日、なにやらひそひそと話しあっているらしい気配がつづいていた。

「えろう仲のええこっちやなあ。双方ともここではじめて顔をあわせたというのに」

紀州屋が皮肉たっぷりの口調でささやいたが、市橋も思わず眉をひそめていた。

ときどき、富子の甲高い声がもれてくる。なにかをい

い争っているような気配だった。

市橋たちは、隣室のなかの様子が手にとるようによめていた。彼らは、まつをの死をもう既定の事実として、死後の遺産の分振りで争っているにちがいなかつた。

かたち屋の資産は、市橋たちがおおざっぱに見積っただけでも、三、四十万円はあつたろう。御崎の商店街でも、五指にはいる身代であった。

もちろん、まつをには嫡男の良治がいる。だが、未成年のこの相続人は、後見人の承諾なしには、自分の財産でも、一円も自由にすることはできない。相続人が満二十才になるまで、かたち屋の財産は、実質的には後見人の財産にひとしかつた。そこが、親戚たちの付け目にちがいなかつた。

後見人には、だれがなるか。世間のしきたりからいえ

ば、まず、良治の母方の伯父にあたる秀吉であろう。

青鹿勢津は、法的には良治とは赤の他人であった。かたち屋の資産に容喙する権利は勢津ではない。だが、なんといつても、勢津は、良治とはもつとも血の濃い、父方の祖母であった。祖母と孫という、この血縁関係は切っても切れなかつた。四目日の朝、ひとまず帰宅して、

睨憩に」

と、水田は田舎者の秀吉たちを煙に巻くようにいつた。そういうえば、この夫婦はいかにも安酒場のマスターとマダムといった感じであった。

良治は、母の病状がいつ急変するかも知れないでの、ずっと病院に待機していたが、いつまでも学校を休むわけにはいかなかつた。四目日の朝、ひとまず帰宅して、

「なるほどな。名古屋の娘はんが夫婦連れで乗りこんできたのも、無理ないな」

紀州屋が富子夫婦の肚のうちを見すかしたようにいた。

「娘はんにしたら、まつをはんの里の連中に、かたち屋の財産をそつくり持つていかれる手はない、ちゅうわけやろ。良ちゃんは、お勢津はんのかわいい孫や。娘はんかて義理にもせえ、良ちゃんの叔母はんや。娘はんの肚ではあわよくばお勢津はんを後見人に仕立てあげるか、それがあかんだらせめて遺産の半分でも三分の一でも分捕らう、ちゅうところやろ」

「そうかも知れんな」

市橋もうなづいた。

「藤井はんのほうも、おおかたそういうとこを予想して、弟の政市はんが助つ人についてきたんやろ。あの仁はなかなか隅におけん商売人らしいさかいな」

「どつみち、政市はんにせえ、富子はん夫婦にせえ、ここでちょっかいだしといたら自分らの口もぬれるさかいな」

「けど、あさましい話やないか。だれも、まつをはんの病気を心配して見舞にきたんやない。死にかけてる病人

のそばで、財産の分捕りをはじめてるんや。親類で、そんな薄情なもんか」

「人間、金には弱いであ。金のことになつたら、兄弟でさえ、他人のはじまりいうやないか。こら、なかなかすんなりと話はつかんで。どうせ、いまにひと荒れ荒れるやろ」

「いちばんかわいそんなんは良ちゃんや。みなし児になるとえに、へたしたら、財産をみんな巻きあげられ、厄介もん扱いにされるのが関の山やろ」

「というて、他人のわしらでは、このさい、どうにもならんしなあ」

紀州屋が歎がゆそうにいった。

「あのお勢津はんは、どう考てるんやろ」

「さいな。万一の場合は、良ちゃんは自分が育てる、いうてたけどな」

「けど、藤井はんが自分が後見人になるつもりなら、良ちゃんをはなすまい」

「そうすると、こんどは良ちゃんの分捕り合戦か」

だが、紀州屋のこの予想はあたらなかつた。

勢津が市橋と紀州屋に、意外な胸のうちを語つてきかせたのである。

(次号につづく)

* 神戸の催物ごあんない *

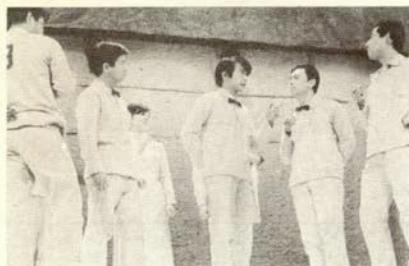
<音楽>

►村田英雄シヨー

6月13日 PM6:30 6月14日 PM2:00 6:00
会費／¥430 民音6月例会 於神戸国際会館

►黒沼ゆり子と京都市交響楽団による名曲コンサート
6月17日 PM6:30 会費¥650 労音6月例会 於
神戸国際会館

►高石友也とフォーク・キャンバーズ
ザ・フォーク・クルセイダーズ
6月26日 PM6:30 会費¥400 於海員会館
6月27日 PM6:30 会費¥450 於神戸国際会館
旁音6月例会



俳優座公演“ベトナム討論”の一場面

<演劇>

►俳優座公演“ベトナム討論”

6月28・29・30日 PM6:15 30日のみ PM1:30
会費／¥550 作／ペーター・ヴァイス 訳／岩淵達治
演出／岩淵達治・木村鈴吉 出演／神山寛・袋 正
福田豊土・菅原太郎・遠藤剛・山本圭・新克利・佐藤オ
リエほか 労音6月例会 於神戸国際会館

<美術>

►長崎の版画展

5月31～6月25日 AM9:00～PM4:30 入場料金
／大人¥50 小人¥20 於南蛮美術館 月曜休館

►古代美術画 小川雨虹日本画展

5月31～6月5日 於そごう百貨店8階画廊

►新しい美術の動向「現代の空間'68」

6月7～12日 主催／神戸新聞 於そごう百貨店6階催
物会場

►礪見忠司作陶展

6月14～19日 於そごう百貨店8階画廊

►橋田親子染色工芸展

6月21～26日 於そごう百貨店8階画廊



この腕を売る

声の玄関番 ★

電話交換手係長
安田 喜美

声一筋に三十余年。安田さんはホテルの声の玄関番——電話交換手である。

昔、ホテルの交換手は市民の海外向け電話取次ぎまでしたそうで、当時は気苦労が絶えませんでしたと語る。彼女ほどのベテランになると声だけで名前の分るお客様は数百人にのぼる。お客様の方も自分の名前を知ってくれたことに大変気を良くするというから、接客法を充分心得た一級交換手である。

日頃、若い交換手に、言葉使いだけは気を付けるよう忠告しているそうだ。若い社員にとつては仕事の他、何んでも相談のできる良きオバサンである。

'68神戸つ子酒祭り開く 灘の酒ワンダフル!



★上は表彰式にごきげんの横綱朝比奈隆氏(左から)、
大関西脇親氏、張出大関安部正夫氏★右下は番附審
査員竹田洋太郎氏から表彰状をうける朝比奈氏と灘
の銘酒をかかえ美女にかこまれてそろいのみを待つ
三役陣。★オリエンタルホテル2階大ホールをうす
めた酒徒。美女。酒徒の顔々。



★神戸っ子七周年記念「'68
神戸っ子酒祭り」が、四月
十五日オリエンタルホテル

で開かれ四百名が集まつた

灘五郷会十二銘柄の一斗

の樽出しの酒が木の香もか
ぐわしく十二軒の居酒屋に

えられた。新装開店の絨

毯バー・ガメラ（キヤンティ
+ドカ合作）。笑おう亭（マ

ンガ家連）毛乃可起亭（作
家連）蛸壺亭（人魚亭）。ヒ

ッピー亭（松乃家亭）、ルフラン
亭、落亭、希久丸亭（A
COK+さりげなく）。阿似

子亭、どっこいKOBEx行
動美術亭などが、趣向と酒

肴をこらし、酒豪を楽しま
せた。舞台では兵庫県洋舞

家協会員による灘五郷酒造
唄のパレードや、花柳芳恵一

子、芳叟連中による民踊が
はなやかな雰囲気を盛りあ

げる。待望の神戸酒徒番附
の表彰式は、初めて参會さ

れた朝比奈隆横綱をはじめ
三役陣が美女にかこまれめ
でたくそろいのみを終え今

年も酒道に精出すことを誓
った。香べえ三代記は明治、
大正、昭和の三組にわけて
のビール飲み競争。昭和つ
子には、女性も登場して見

事なのみつぶりをご披露。
また神戸カーニバルにそな
えて、フラワードードサン
バの作曲者小曾根実氏が新
作を紹介、会場全員がサン
バを踊つて幕といなこや
かな集いとなつた。お客様
の淡路恵子さんやバルボ
ン、ジヤンメルオーさん、
ブラジル領事とエトランゼ
も、ワンドフル／＼と灘の
酒をエンジョイした。

（なお四月十九日朝日TV婦人二
ニュースで当日風景が放映された）



樽酒はめどもつきせず樽ごとエイッ！

サケに強い外人チームに囲まれたミ一坊



お客様の淡路恵子さんと本誌小泉編集長・ドカのママ（右）



井に壺をつけグイッとひとくち萬葉酒に懇意の酒徒



笑おう亭のたかはし もう氏にさく
朝日TVの玉井アナウンサー。

オフィス・レディの悟味酉訪問 <8>

暑い熱い！ でも素敵

夏でも汗をかきながら食べる楽しみ、一年中食べられる楽しみ、お友達と話しながら食べられる楽しみ、この三つの楽しみを叶えてくれるのが、ちゃんこ鍋。

呂 少珍 (大東貿易勤務)



上はちゃんこ定食（300円）、左はちゃんこ鍋（500円）

お茶漬・おむすび・鍋もの
悟味酉
阪急西口 <33> 3848

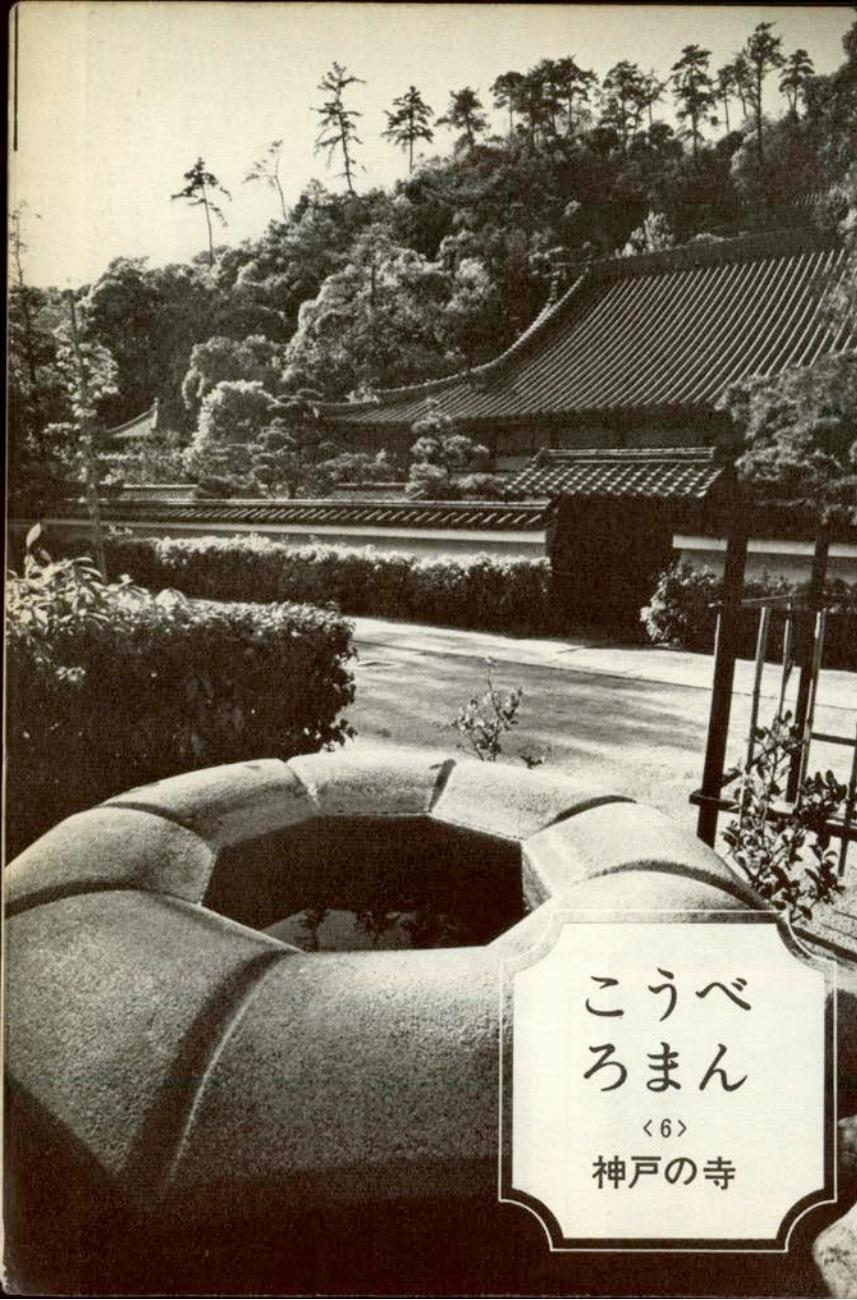
鍋もの
炉ばた 悟味酉
阪急西口 <33> 3848
<2階>

★姉妹店
お茶漬・おむすび・鍋もの
小る里
生田前筋 <33> 5535

さんちかタウン 悟味酉ちゃんこ場／味のれん街 TEL. 神戸 (39) 5319

文 陳舜臣 カメラ 緒方しげを

コウベはハイカラな面ばかりが目立つが、たんなる外来文物の溜り場であれば、薄っぺらなベンキ絵にすぎない。異国情緒はその地の風土と触れ合ってスパークをおこしてこそ深みをもつ。この雲水のメッカ祥福寺は、神戸のエキゾチズムを理解するうえでも忘れてはならない。神戸がベンキ絵でないことを、この筆太の山水は教える。いまこの寺に禅を学ぶ外国人が数人いる。女性もいるそうだ。文明の輪廻とでもいへば。



神戸の財閥川崎一族の菩提寺が、この布引山麓の徳光院である。どうやらこの寺は、よそ者のよせ集めである神戸をシンボライズしているようだ。本堂は播磨の古寺を移したときく。この寺の上のほうにある六英堂は、東京新宿の岩倉具視の居室を移したもの。石燈籠ふうの石柱は鹿児島城の城壁の一部とか。石の狛犬と墓所の石像は朝鮮からもつてきた。そのかわり川崎男爵の銅像は戦時中供出してどこかへもつて行つた。台座だけが残つている。

徳光院



えない。

そりかえった屋根のうえに、二頭の竜がむき合い、本堂前にも二頭の獅子が門を守っている。朱と青と黄。金びかの関帝廟は神戸在留中国人の信仰の中心である。空襲で焼けたのを、戦後いちはやく再建した。華僑学校の再建よりも早かつたので首をかしげるもいたが、関帝は商売の神様だから、廟をつくつて商売繁昌を祈願し、そのご利益によつて学校をつくるという順序であろう。年じゅう線香の煙がた

—— 関帝廟 ——





No.4
●サンサカエ・ゴルフコーナー

ゴルフの後のビールのうまさ

久保隆信（神映興業K・K社長）

広野ゴルフ場は松林が印象的である。蝶が飛びかい、馬酔木が咲き乱れる中で、久保氏のゴルフは豪快そのもの。10年のキャリアーを持ち、週に一回はゴルフに興じる、という久保氏は、腕前はまだまだ、と謙遜する。

ゴルフの後のビールがうますぎてネ、そのためゴルフをするのです。とは氏の弁。

〈広野ゴルフ場にて〉

〈夏のゴルフウェア〉

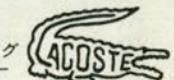
★これからはゴルフウェアの目立つシーズンです。当店では、半袖ボロズボンetc. オリジナルな夏ものの舶来を全て揃えました。

★実に楽しい雰囲気の店です。奥さんがとても親切でていねい。一久保氏談

マックグレガー



ラコステ



マンシング
ウェア

ACOSTE



men's apparel

サン・サカエ

神戸元町2

TEL<33>-7885

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

*宝飾品 Jewel·Pearls

①宝 飾 御木本真珠店	國際分館 1 階 Mikimoto Pearls
②宝 飾 田崎真珠店	新聞会館 善品店 Tasaki Pearls
③宝 飾 北村真珠店	元町通二丁目 Kitamura Pearls
④宝 飾 夕ジマ	元町通二丁目 Tajima Jewel
⑤時計と宝石	元町通三丁目 Mita Watch Shop
⑥宝 飾 神戸宝石	トアロード Kobe Jewel
⑦真珠・毛皮 舶来婦人服裝	タマラ Pearl Fur & Ladies'

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦紳士服 柴田音吉洋服店	元町通四丁目 Tailor Sibata
⑧ネクタイ 元町バザー	元町通一丁目 Motomachi Bazaar
⑨紳士服 三恵洋服店	元町通西四丁目 Tailor Mituei
⑩男子洋品 フナキヤ	元町通三丁目 Funakiya
⑪紳士服 十字屋洋服店	元町通五丁目 Tailor Jujuya
⑫洋品雑貨 サノヘ	元町通二丁目 Sanohe
⑬ワシャン 神戸シャツ	大丸前 Kobe Shirt
⑭紳士服 洋服の粹渡辺	元町通一丁目 Watanabe
⑮衣生活品 ニッケショールーム	元町通三丁目 Nikkie Showroom
⑯紳士服 神戸テラーラ	阪急西口・西 Kobe Tailor
⑰若人の服飾 マック	三宮商店・トアロード店 Center-Gai・京都店 Mac Men's Shop
⑱紳士服飾 う	元町通二丁目 Center-Gai
⑲紳士シャツ 大和屋のシャツ	元町通一丁目 Yamatoya Shirt

⑳婦人洋装・洋品 Ladie's Shop	マキシン
㉑相子	Maxim
㉒服飾雑貨	エスター・ニュートン Esther Newton
㉓洋品	スギヤ Sugiyama
㉔ハンドバッグ	シラサ Shirasa
㉕ベビーアイテム	ファミリーリア Familiar

㉖洋傘	オカダ Okada	才	カ	タ	元町通三丁目 3-motomachi
㉗洋装	マスuya Masuya	ス	ヤ	ヤ	センター街・元町三 3-motomachi
㉘婦人服飾	ベニヤ Beniya	ベニ	ヤ	ヤ	センター街・善人カウン 09-5528-9-091204
㉙輸入服地	マルゼン Maruzen	マル	ゼン	ン	三宮一丁目 5-3 (生田筋筋) 09-6901 Buta Street
㉚婦人・紳士服	セリザワ Serizawa	セリ	ザ	ワ	センター街・大丸前 Center-Gai
㉛毛皮	ベニ一毛皮店 Bennie Furrier(Furs)	ベニ	一	毛	国際会館一階 Kobe International House

*装身具・服飾品 Accessory·Dress

㉜ベコ甲	太田ベコ甲 Ota Co. (Tortoise-shell ware)	太	田	ベコ	元町通一丁目 1-motomachi
㉝ハンドバッグ	イクシマヤ Ikushimaya	イク	シマ	ヤ	元町通一丁目 1-motomachi
㉞アクセサリー	芸	夢	夢	夢	トアロード Tor Road
㉟アクセサリー	クラックス靴店 Cross Shoes	クラ	ク	ス	トアロード Tor Road
㉟婦人・紳士靴	ヨシオカ	ヨシ	シ	オ	大丸前 In front of Daimaru

*和装 Kimono.Geta

㉟呉服	ちんがら屋 Chingaraya	ちん	がら	屋	セントラル街 Center-Gai
㉟呉服	みよしや Miyoshiya	みよ	し	や	大丸前 In front of Daimaru
㉟衣裳	中川衣裳店 Nakagawa	中	川	衣	セントラル街 Center-Gai
㉟衣裳	つるや衣裳店 Turuya	つる	や	衣	大丸前 In front of Daimaru

*美容 Beauty Shop

㉟美	美容室あきら Akira Beauty Shop	ア	キ	ラ	三宮本通り Sannomiya-Hondori
㉟美	美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop	エ	リ	ザ	本店・生田筋 3-motomachi

*美術・工芸品 Art

㉟美術	元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery	元	町	画	元町通一丁目 1-motomachi
㉟画材・額縁	末積製額 Suezumi	ト	ア	ロ	トアロード Tor Road
㉟工芸	穂川工芸店 Isokawa	ト	ア	ロ	トアロード Tor Road
㉟美術陶磁器	淡洲堂 Tanshudo	セ	ン	タ	セントラル街 Center-Gai
㉟新古美術	播磨新	元	町	通	元町通三丁目 3-motomachi

*家具・家庭・文化用品 Furniture·Family

㉟家具	永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop	太	九	利	元町通三丁目 3-motomachi
㉟玩具	力メヤ	元	町	通	元町通三丁目 3-motomachi

*メガネ 神戸眼鏡院

㉟カメラ	コヤマカメラ Koyama Camera Shop	元	町	通	元町通三丁目 3-motomachi
㉟儀式用品	富田屋	セ	ン	タ	セントラル街 Center-Gai

㉟カバン	大上鞄店 Oue Trunk Co.	元	町	通	元町通一丁目 1-motomachi
㉟ブルフ用品	夕力ハシ	元	町	通	元町通三丁目 3-motomachi

㉟電器製品	元町家庭電器販売KK Motomachi Electric Co.,Ltd.	元	町	通	元町通六丁目 6-motomachi
㉟菓品	三星堂薬局 Sanseido Pharmacy	三	星	通	元町通六丁目 6-motomachi

㉟メガネ	服部メガネ店 Hattori Optical Shop	大	九	前	大丸前 In front of Daimaru
㉟結納儀式用品	遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo	遠	藤	福	遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo

*ボーリング Bowling

㉟ボーリング	神戸スターレーン Kobe Starlane	市役所	西	西	市役所西 West City Hall
--------	---------------------------	-----	---	---	------------------------

*菓子・喫茶 Cake·Tea-room

㉟和洋菓子	鳳月堂	元	町	通	元町通三丁目 3-motomachi
㉟和菓子	亀井堂本家	ト	1	6	0-0001 To Road

㉟菓子	雁治郎飴本舗	多	間	通	多間通 Sammon-Dori
㉟洋菓子	ドン	セ	シ	タ	セントラル街 Center-Gai

㉟チョコレート	モロゾフ	モ	ロ	ゾ	モロゾフ Morozoff
㉟ドライ菓子	ユーハイム	ユ	ー	ハイ	ユーハイム Juchheim's

㉟洋菓子	ヒロタ	ヒ	ロ	タ	ヒロタ Hirota Confectionery
㉟洋菓子	ユーハイムコンフェクト	ユ	ー	ハイ	ユーハイムコンフェクト Yuhaimu Confec

㉟和菓子	二つ茶屋	二	つ	茶	二つ茶屋 Futatsuchaya
㉟本高砂	砂屋	本	高	砂	元町通三丁目 3-motomachi

㉟カステラ	長崎堂本店	長	崎	堂	長崎堂本店 Nagasaki-do
㉟瓦煎餅	亀井堂総本店	瓦	井	堂	元町通六丁目 6-motomachi

㉟瓦煎餅	亀井堂総本店	河	南	堂	河南堂 Kanando
㉟瓦煎餅	菊水總本店	菊	水	總	菊水總本店 Kikusui Sohonten

㉟喫茶	UCウエシマコーヒーショップ	さ	ん	か	タウ
㉟洋菓子	アルモンド	ア	ル	モ	アルモンド Almond

㉟チョコレート	ゴンチャロフ	ゴ	ン	チ	ゴンチャロフ Goncharoff
㉟銀行	直輸入	直	輸	入	直輸入 Seisyu

*和洋菓子 寿本

㉟パーラー	神戸眼鏡院	和	洋	菓	寿本
㉟和洋料理	Eating House	和	洋	料	本

㉟銀行	竹葉	和	洋	料	本
㉟和洋料理	竹葉	和	洋	料	本

㉟亭	急急亭	和	急	急	亭
㉟士家藏	士家藏	和	急	急	亭

㉟亭	急急亭	和	急	急	亭
㉟士家藏	士家藏	和	急	急	亭

㉟亭	急急亭	和	急	急	亭
㉟士家藏	士家藏	和	急	急	亭

㉟亭	急急亭	和	急	急	亭
㉟士家藏	士家藏	和	急	急	亭

㉟亭	急急亭</td
----	---------



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを！



5年間 積立期間 毎月 ボーナス月

5000円！
50000円！



東宝／内藤洋子

…これで100万円近く 知らぬまに
たまり 100円単位でグングン利子
のつく《こうべ》の積立！
進学・結婚・マイホームなど楽し
い暮らしのプランに あなたも100
万円めざして《GO! GO! GO!
作戦》に参加してください。

■お好きな額で
自由積立預金
■決まった額で
定額積立預金

神戸銀行

明日への飛躍に
ボーナスを
100万円ねらって！
5! 5! 5! スタート

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください

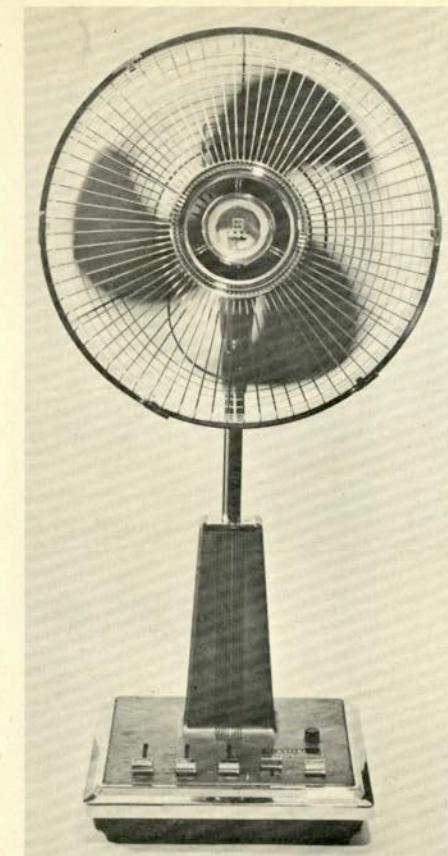
ナショナル Q 羽根 扇口機

昭和四十年一月二十日 発行所／神戸市兵庫区八幡通五丁目九六（市役所前）

第三種郵便物認可 昭和四十三年六月一日発行 毎月一回

大日本印刷株式会社印刷

編集発行／小泉康夫 価格12円



〈電子扇〉
35センチ超高级お座敷扇“松風”

F-35QH

月賦定価(6回)

現金正価

31,600円

29,500円

着脱式Q羽根・自由首振り・前面首振り・角度調節・ソリッドスタート無段变速・3時間タイマー・電動式高さ調節・コード自動捲込み・分解パック梱包

松風

巾広い羽根
風量がぜんアップ！

●風のベストセラー まつかぜ

- ★使い勝手は抜群
- ★定評ある自由首振り
- ★自動まきこみ装置
- ★強力コンデンサーモートル
- ★分解パック梱包

